



第8回
日本視覚障害者サッカー選手権
B1大会

2009年7月4日（土）5日（日）
アミノバイタルフィールド

実施報告書

独立行政法人 福祉医療機構 助成事業

魅せる大会への第一歩

第8回日本視覚障害者サッカー選手権B1大会におきましては、関係各位のみなさまに、多大なるご理解とご尽力をたまわりましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

東京での開催となった今大会では、じつに多くの皆様に観戦にいらしていただきました。これまで障害者スポーツは観戦するものではない、といった考え方がある一方で、私たちは見に来てもらう人たちから聞く「すごい!」という声をチカラに、選手たちはプレーの技術の向上へと、運営は一層の充実にと努力をしてまいりました。観戦した皆様に少しでも感動をよびさますことができましたら、選手ともども、嬉しく存じます。

また、今大会ほど、多くのボランティアスタッフに支えられた大会もありません。のべ180人という大勢のスタッフに支えられ、素晴らしい環境の下、選手たちは力を発揮することができました。この場をお借りして、貴重な時間と労力をご提供いただいた皆さんにも御礼を申し上げます。

今年、12月には日本でアジア大会を開催します。私たちは優勝をめざし、代表強化合宿を積み重ねます。そして来年の8月、ロンドンで開催される世界選手権大会へ参加することを期待して準備をすすめています。

第8回日本選手権大会開催におけるお礼を申しあげるとともに、来たるべきアジア選手権、ロンドン世界選手権へのご理解とご協力を、心よりお願いいたします。



日本視覚障害者サッカー協会 理事長 釜本美佐子

御礼 -多くの皆様に支えられて-



今回「第8回日本視覚障害者サッカー選手権B1大会」の実行委員長を務めるにあたっては、第一に日本選手権として、しっかりとした成果を残すこと、第二に、本年12月に開催を予定しているアジア選手権ー日本で初めての公式国際試合ーを想定した運営手法をとることが目的でした。

ついては、予算も限られた制約のなか、どのように運営体制を確立し、選手たちが満足し、多くの観客に見えていただけか、頭を悩ませたこともありました。

しかし、実際に動き出してみると、多くのボランティアが説明会に参加し、ブラインドサッカーを盛り上げる知恵と労力を出してくださいました。はじめてかかわった多くの方々には、心配やご迷惑もおかけしたと思いますが、皆様のご助力、ただ感謝するばかりです。

また、三鷹市、府中市、調布市をはじめとする今大会の核となる地域の皆様にも多大なご支援をいただき、当日は賑やかな大会となることができました。「多くの観客を魅了したい」そう思い、ひたむきに努力する選手たちにとっても刺激に溢れる大会になったと確信しております。

この場では伝えきれないほど、今大会、そしてアジア選手権に向け、ブラインドサッカーを多くの皆様に支えていただいています。心より感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

そして、来る12月に向け、ブラインドサッカーを一層盛り上げていただきますよう、厚くお願いを申し上げます。

第8回日本視覚障害者サッカー選手権B1大会

実行委員長 井口健司

(日本視覚障害者サッカー協会)

- 大会名 ■ 第8回 日本視覚障害者サッカー選手権B1大会
- 主催 ■ 日本視覚障害者サッカー協会
- 後援 ■ 独立行政法人 福祉医療機構／財団法人 日本障害者スポーツ協会
東京都／財団法人東京都サッカー協会／東京都障害者スポーツ協会
三鷹市／三鷹市教育委員会／調布市／調布市教育委員会
府中市／府中市教育委員会
- 協力 ■ 三鷹市サッカー協会／調布市サッカー協会／府中市サッカー連盟
FC東京／サッポロホールディングス株式会社／京王電鉄株式会社
株式会社健康体力研究所
- 大会協賛 ■ 株式会社アディダス ジャパン
- パートナー ■ アクサ生命保険株式会社 / ブラックロック・ジャパン株式会社
株式会社日立コンサルティング／ロート製薬株式会社
株式会社ピースマインド／フットサルマガジン ピヴォ！
スリープログループ株式会社／株式会社イデアインターナショナル
- 主管 ■ 第8回日本視覚障害者サッカー選手権B1大会実行委員会
- 日程 ■ 平成21年 7月4日（土） ・ 5日（日）
- 会場 ■ アミノバイタルフィールド
〒182-0032 東京都調布市西町376番地3
tel 042-440-0813（代表）（交通）京王線 飛田給駅下車 徒歩5分
- スケジュール ■

	4日	11時～ 13時00分～13時40分 ～17時30分	第1試合開始 開会式 第1日閉会
	5日	9時～ 14時～15時10分 15時10分～	第1試合開始 決勝戦 表彰式
- 並行事業 ■

7月4日（土）	9：30～17：00	少年サッカー大会（三鷹市サッカー協会）
7月5日（日）	9：30～14：00	フットサル大会
7月4、5日	終日	アジア選手権応援フラッグプロジェクト
- 参加チーム数 ■ B1クラス 11チーム195名
- ボランティア ■ のべ190名
- 観客 ■ のべ640名

F. C. アヴァンツァーレ (茨城県／青・青)



ラッキーストライカーズ福岡 (福岡県／紺・白)



T. WINGS (埼玉県／水・白)



たまハッサース (東京都／紺・紺)

大阪ダイバズ (大阪府／青・白)



F. C. ビヴァンツァーレ (茨城県／白・青)



京都プリティウェル (京都府／緑・白)



山梨キッカーズ (山梨県／白・赤)



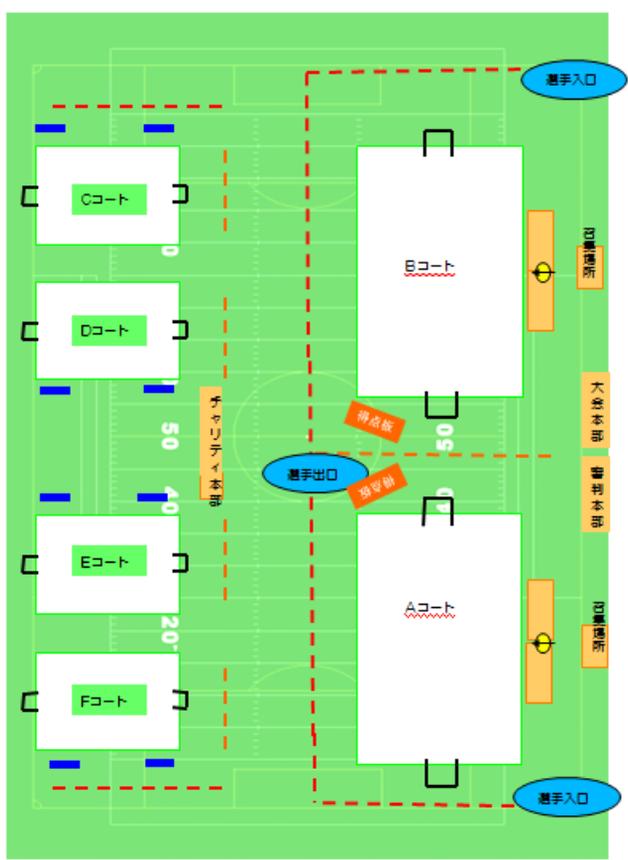
ウォーリアーズ (千葉県／藍・赤)

兵庫サムライスターズ (兵庫県／赤青・青)



U.Wings (埼玉県／白・赤)

住所・アクセス 〒182-0032 東京都調布市西町376番地3
 tel 042-440-0813 (代表)
 (交通) 京王線 飛田給駅下車 徒歩5分
 西武多摩川線 多磨駅下車 徒歩20分



会場となったのは味の素スタジアムのサブグラウンド「アミノバイタルフィールド」。ロングパイルの人口芝グラウンドでブラインドサッカー用に正規のコートを2面、メインスタンド寄りに設置し、余白部分にやや小さめのフットサルコート4面を設置。地域の子供たちや一般のフットサル大会に開放し、集客、同スポーツの認知理解向上を図りました。

アミノバイタルフィールドでは、各種備品の借用や、各種併催事業へのご協力等、全面的なご協力をいただきました。

予選リーグ

全11チームを、4・4・3チームの3つのリーグに分けて予選を大会初日に実施。各リーグ上位1チームが決勝トーナメントに進出。また、4チームのリーグであるA、Bリーグの2位同士は敗者復活として決勝トーナメントの最後の1席を競う競技形式となりました。

Aリーグ	アヴァ	山梨	大阪	京都	得点	失点	得失点差	勝点	順位
Avanzare		7-0	4-0	3-0	14	0	+14	9	1
山梨キッカーズ	0-7		0-4	0-2	0	13	-13	0	4
大阪ダイバンス	0-4	4-0		1-0	5	4	+1	6	2
京都プリティウェル	0-3	2-0	0-1		2	4	-2	3	3

Bリーグ	たま	ウォ	T	兵庫	得点	失点	得失点差	勝点	順位
たまハッサーズ		3-1	0-0	3-0	6	1	+5	7	1
ウォーリアーズ	1-3		0-2	4-0	5	5	0	3	3
T.Wings	0-0	2-0		1-0	3	0	+3	7	2
兵庫サムライズターズ	0-3	0-4	0-1		0	8	-8	0	4

Cリーグ	U	ビヴァ	福岡		得点	失点	得失点差	勝点	順位
U.Wings		0-0	0-2		0	2	-2	1	3
Vivanzare	0-0		0-1		0	1	-1	1	2
ラッキーストライカーズ福岡	2-0	1-0			3	0	3	6	1

■ Aリーグからは昨年の覇者アヴァンツァーレが得点力を発揮し、圧倒的な力で1位通過。それに対し、昨年の準優勝チーム、大阪ダイバンスが確実に勝ち点を上げ、2位で通過しました。

■ Bリーグは常勝たまハッサーズに対し、初の決勝トーナメント進出を目指すT.Wingsが粘りで引き分け、勝ち点でハッサーズに並びます。しかし、ハッサーズが他の2チームで着実に得点を上げ、1位通過。3位となったウォーリアーズも最後までT.Wingsともつれるものの、直接対決で敗れ、T.Wingsが2位で通過しました。

■ Cリーグはラッキーストライカーズ福岡が2連勝を得、初の決勝トーナメント進出を決めました。

決勝トーナメント

■大会初日の予選を1位で勝ち抜いた3チームと、A、B各リーグの2位同士の勝者により決勝トーナメントが開催されました。

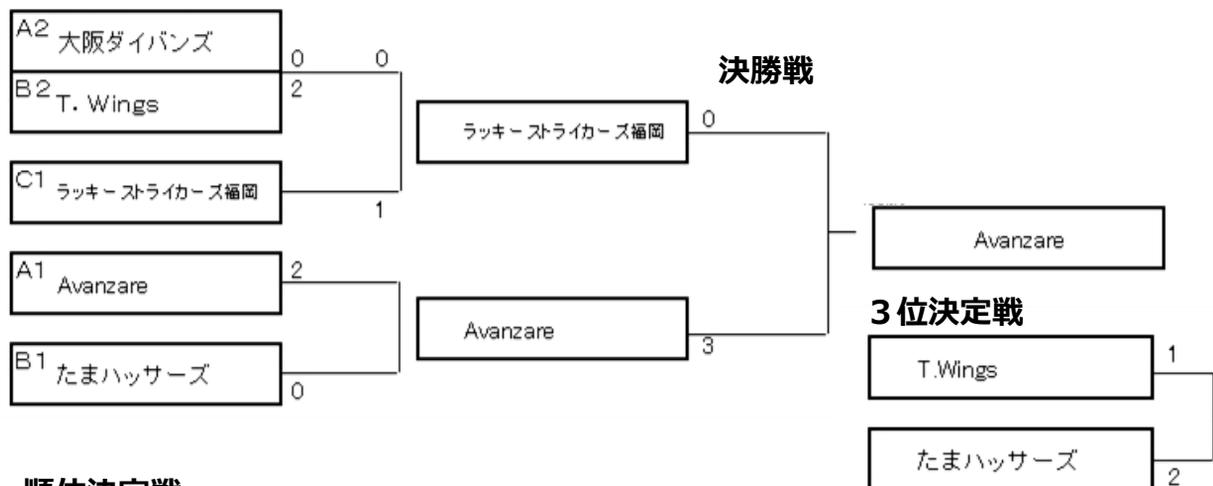
■初戦は敗者復活の大阪ダイバズ対T.Wings。優勝経験もあり昨年準優勝を果たしている大阪が初めての決勝トーナメント出場のT.Wingsに対するも、運動量、チャンスメイクに優れるT.Wingsが終始圧倒。2対0でベスト4進出を決めました。

■ベスト4に入ると、過去4大会連続で準決勝で対戦となるアヴァンツァーレ対たまハッサーズの大会屈指のカードが今大会でも再現。昨年の雪辱を果たそうとするたまが気持ちの入ったプレーを見せるものの、連覇を狙うアヴァンツァーレの攻守に渡る技術の高さに押されます。双方に得点チャンスがあったものの、決定力を見せつけたアヴァンツァーレが2年連続の決勝戦へと駒を進めました。

■両者初の準決勝進出となったT.Wingsとラッキーストライカーズ福岡。日本代表を複数有するT.Wingsが有利に試合を展開するものの、ベスト4決定戦で1試合余分に試合をこなしている疲れも目立ちました。コンビネーションプレーを高め、決定力も格段に高まった福岡が貴重なチャンスを結びつけ、1対0で初の決勝戦進出を決めました。

■本競技始まって以来の観客が注目する中、アヴァンツァーレ対ラッキーストライカーズ福岡の決勝戦。両チームの攻防にスタンドからはどよめきも起こるほど。前半は0対0で折り返すものの、後半に入りアヴァンツァーレが福岡を圧倒。MVPを獲得した田村友一選手が、ハットトリックを達成し優勝に華をそえました。

決勝トーナメント



順位決定戦

6位決定リーグ	京都	ウォー	Viva	得点	失点	得失点差	勝点	順位
京都プリティウェル	-	1-1	0-0	1	1	0	2	7
ウォーリアーズ	1-1	-	0-1	1	2	-1	1	8
Vivanzare	0-0	1-0	-	1	0	+1	4	6

9位決定リーグ	山梨	兵庫	U	得点	失点	得失点差	勝点	順位
山梨キッカーズ	-	3-2	0-1	3	3	0	3	10
兵庫サムライスターズ	2-3	-	0-0	2	3	-1	1	11
U.Wings	1-0	0-0	-	1	0	+1	4	9

優勝 **アヴァンツァーレ（茨城県／2回目、連覇）**

優勝したアヴァンツァーレには、アディダス ジャパン株式会社よりチームユニフォーム一式が贈呈されました。

準優勝 **ラッキーストライカーズ福岡（福岡県）**

第3位 **たまハッサーズ（東京都）**



昨年の初優勝では「涙」の目立った選手たち。今年は晴れやかな笑顔を見せた。



優勝したF. C. アヴァンツァーレ

最優秀選手賞

田村友一選手

（アヴァンツァーレ／茨城県）

MVPを獲得した田村選手には、プレゼンターである釜本邦茂氏より、アディダス ジャパン株式会社提供のフットサルシューズが贈呈されました。



F C 東京賞

落合啓士選手（アヴァンツァーレ／茨城県）

F C 東京賞に輝いた落合選手には、F C 東京より選手全員のサイン入りユニフォームが贈呈されました。



日時	媒体名	内容
【大会期間前】		
2009年6月22日 (月)	民主青年新聞	アヴァンツァーレを特集
2009年6月23日 (火)	みたかのみたか	日本選手権開催案内
2009年6月29日 (月)	中西哲生のクロノス (TOKYO FM)	アヴァンツァーレ落合選手が登場。
2009年7月2日 (木)	共同通信	日本選手権開催案内 掲載メディア：信濃毎日新聞、四国新聞、西日本新聞、徳島新聞、高知新聞、山陰中央新報、河北新報、岩手日報、大阪日日新聞ほか多数
	東京新聞	日本選手権開催案内
	京都新聞	京都プリティウエルを中心に
	信濃毎日新聞	長野県でチーム誕生と日本選手権の開催案内
【大会期間中】		
2009年7月4日 (土)	山梨日日新聞	山梨キッカーズを中心に
	調布経済新聞	日本選手権の模様
	ラジオボンバー (調布FM)	たまハッサーズを中心に
	ウェブ版みたかのみたか	選手権当日の模様
【大会終了後】		
2009年7月6日 (月)	中西哲生のクロノス (TOKYO FM)	中西氏のブラインドサッカー体験と選手権の模様のレポート
	みのもんたの朝ズバ!	選手権当日の模様。
	ジュニアサッカーを応援しよう!	選手権当日の模様。
	サッカージャーナリスト 牛木素吉郎のビバ! スポーツ批評	選手権当日の様子と支援の訴え
2009年7月10日 (金)	朝日新聞	釜本邦茂氏のコラムで紹介「ブラインドサッカーは格闘技。サッカーの原点」
2009年7月15日 (水)	MAスポーツ	アヴァンツァーレの優勝
	フットサルマガジンピヴォ!	日本選手権とアジア選手権の告知

【掲載メディア総評】

- 前回大会のスポーツ紙誌での掲載に比較して、スポーツ系、サッカー系メディアの取材が減少した。事前の告知はこれまで以上で、来場者の増加につながった。
- テレビメディアはアジア選手権を見据えた中期的な取材が中心となった。

7月4日付け 東京新聞夕刊



視覚障害の輪

ブラインドサッカー日本選手権

4日から都内で

視覚障害者のためのサッカー大会が、4日から東京都内で行われる。盲人サッカーの日本選手権大会である。盲人サッカーは、サッカーのルールをほぼそのままに、ボールの位置を声援者（ブリンカー）が知らせる。盲人サッカーの日本選手権大会は、盲人サッカーの普及と、盲人サッカーの発展を目的とする。

盲人サッカーは、サッカーのルールをほぼそのままに、ボールの位置を声援者（ブリンカー）が知らせる。盲人サッカーの日本選手権大会は、盲人サッカーの普及と、盲人サッカーの発展を目的とする。

盲人サッカーは、サッカーのルールをほぼそのままに、ボールの位置を声援者（ブリンカー）が知らせる。盲人サッカーの日本選手権大会は、盲人サッカーの普及と、盲人サッカーの発展を目的とする。

盲人サッカーは、サッカーのルールをほぼそのままに、ボールの位置を声援者（ブリンカー）が知らせる。盲人サッカーの日本選手権大会は、盲人サッカーの普及と、盲人サッカーの発展を目的とする。

盲人サッカーの試合の様子。左から右へ、盲人サッカーの選手たちがボールを蹴り、ゴールを叩く瞬間を捉えた。背景には「Blind Soccer」の文字が見える。

6月29日・7月6日放送/TOKYO FM「中西哲生のクロノス」



- 事前のブラインドサッカー、日本選手権の紹介の放送から、当日の様々まで取り上げていただきました。
- 中西さんには実際に日本選手権に会場いただき、ブラインドサッカー体験、選手へのインタビューを行っていただきました。

7月6日放送/TBS「みのもんたの朝ズバ！」



アクサジャパン ホールディングス



ブラックロック・ジャパン株式会社



株式会社日立コンサルティング



ロート製薬株式会社



- アクサジャパン、ブラックロック・ジャパンによるメッセージ型の掲出は4面を貫き、掲出致しました。
- 日立コンサルティング、ロート製薬はロゴを2枚隣り合わせて掲出致しました。

スリープログループ株式会社



株式会社ピースマインド



株式会社アイデア インターナショナル

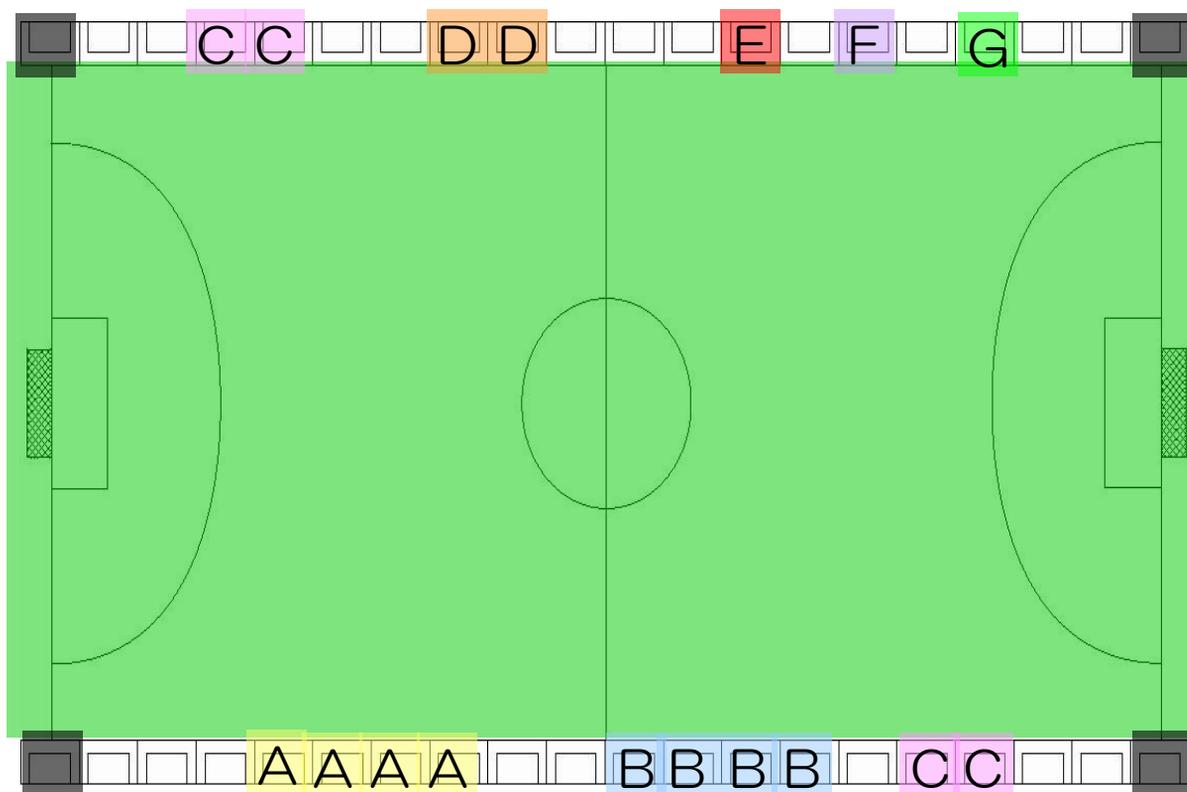


■スリープログループ、アイデアインターナショナル、ピースマインドはロゴを掲出致しました。



- | | |
|------------------------------|------------------------|
| A アクサ生命 (4枚1組) | E スリープロ |
| B ブラックロック・ジャパン (4枚1組) | F ピースマインド |
| C 日立コンサルティング | G アイデアインターナショナル |
| D ロート製薬 | |

※片面18枚



スタンド側

■当日はAコート、Bコートの2面にて同様の掲出を行ないました。

独立行政法人福祉医療機構

大会実施に関し、助成をいただきました。

財団法人障害者スポーツ協会

大会運営に関し、ご後援をいただきました。

財団法人東京都サッカー協会

大会にあたり、大会広報へのご協力をいただきました。

東京都

大会運営に関し、ご後援をいただきました。

東京都障害者スポーツ協会

大会にあたり、大会広報へのご協力をいただきました。

三鷹市

調布市

府中市

三鷹市教育委員会

調布市教育委員会

府中市教育委員会

大会にあたり、大会広報へのご協力をいただきました。



三鷹市サッカー協会

7月4日は小中学生のフットサル、練習会等を開催いただき、子どもたちへの周知に協力をいただきました。

調布市サッカー協会 府中市サッカー連盟

大会広報にご協力をいただきました。

アディダス ジャパン株式会社

優勝チームへのチームユニフォーム一式、最優秀選手への副賞としてフットサルシューズをご協賛いただきました。

FC東京

大会広報のほか、FC東京賞を設けていただき、大会成功にご支援をいただきました。

サッポロホールディングス株式会社

参加者、来場者全ての方に飲料のご提供をいただきました。

京王電鉄株式会社

京王線沿線駅での大会広報にご協力をいただきました。

株式会社健康体力研究所

大会参加者にサプリメント飴をご提供いただきました。



健康体力研究所提供
「スポーツキャンディ」



サッポロホールディングス提供のドリンク

大会期間中、集客、広報を目的に、併催事業を実施しました。

- ①7月4日 少年サッカー（協力：三鷹市サッカー協会）
- ②7月5日 フットサル大会（協賛：スリープログループ株式会社）
- ③7月4、5日 アジア選手権応援フラッグライブペイント by ミヤザキケンスケ
（協賛：ターナー色彩株式会社）



三鷹市サッカー協会による少年サッカー（4日）

アジア選手権応援フラッグライブペイント by ミヤザキケンスケ



アジア選手権にむけ、その場でのライブペイント。
1. 5m×10mの巨大フラッグをボランティアと協力しながら2日間で描いていただきました。



大会終了後、大会の報告を含め、ブラインドサッカーの啓発事業を実施しました。

会期 2009年7月13日～24日

会場 イデアフレームス 表参道ヒルズ

内容 ブラインドサッカーの展示、チャリティグッズの販売

協力 株式会社イデアインターナショナル/株式会社トモ





カズンによる応援ライブ



選手宣誓：アヴァンツァーレ、田村竹晃選手





GK：健常者がプレーする
健常者と障害者が同じピッチに立てる
のもこのスポーツの魅力



釜本邦茂さんに「格闘技」と言わせた激しいプレー



チームワークを高まる円陣



喜びを分かち合う
チームプレーへの思いが深いからこそ
喜びの瞬間が味わえる



観客数の多さは過去最高。
決勝戦はスタンドが埋まった。





のべ190人のボランティア、20人のコアスタッフが大会を支えた。





2連覇を達成したアヴァンツァーレ



プレゼンターとして来場いただいた
釜本邦茂さん



日本選手権について、あなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=87/選手、ボランティア回答

大変評価できる	66
評価できる	32
評価できない	2
	(%)

会場についてあなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=37/選手のみ回答

広さ

大変評価できる	51
評価できる	46
評価できない	2
	(%)

立地条件

大変評価できる	32
評価できる	57
評価できない	11
	(%)

会場設備

大変評価できる	43
評価できる	43
評価できない	8
	(%)

プレー環境

大変評価できる	32
評価できる	46
評価できない	22
	(%)

競技について、あなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=37/選手のみ回答

試合数

少ない	22
適当	73
多い	3
	(%)

競技形式

大変評価できる	19
評価できる	65
評価できない	16
	(%)

晴眼者の参加

大変評価できる	43
評価できる	49
評価できない	8
	(%)

大会運営についてあなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=87/選手、ボランティア回答

スケジュールについて

大変評価できる	32
評価できる	61
評価できない	7
	(%)

実行委員会について

大変評価できる	47
評価できる	52
評価できない	2
	(%)

ボランティアについて

大変評価できる	41
評価できる	48
評価できない	12
	(%)

広報活動について

大変評価できる	21
評価できる	52
評価できない	29
	(%)

併催事業についてあなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=87/選手、ボランティア回答

少年サッカーについて

大変評価できる	49
評価できる	46
評価できない	6
	(%)

チャリティフットサル大会について

大変評価できる	48
評価できる	45
評価できない	8
	(%)

アジア選手権応援フラッグ

大変評価できる	45
評価できる	47
評価できない	9
	(%)

ボランティアの参加についてあなたのお気持ちに近いものはどれですか？

N=51/ボランティアのみ回答

満足度について

大変満足できる	53
満足できる	43
満足できない	8
	(%)

休憩時間について

適切	82
適切ではなかった	18
	(%)

休憩時間について

大変役立った	33
役立った	65
役に立たなかった	2
	(%)

仕事量について

適切	80
適切ではなかった	20
	(%)

仕事内容の説明について

適切な説明があった	69
説明が乏しかった	31
	(%)

- いわゆる”健常者”の次元に合わせるのではなく、選手の皆さんが自分の次元でサッカーをしているのだと思いました。見える／見えないにかかわらず、それぞれがサッカーを、スポーツを楽しめるのはすてきなことだと思います。
- きちんとしたフィールドで行われるBSをみるのは初めてでした。各チームによって差はありつつも、うまいチーム、選手は本当に高い技術を見せてプレイしており、一般のサッカーファン、フットサルファンでも十分に観て楽しめるレベルにあると感じました。
- サッカーなどの大きなイベントでは、規模が大きくなりすぎて観客・スタッフと選手との隔たりが出来ますが、今回の大会は距離が近くて良かったと思います。これからは選手・観客・運営が一体となった大会となるように願っています。
- ハンディがあるとは全く感じさせないプレーのスピード感や、ぶつかることを恐れない選手の勇気が凄かった。
- ボランティアの仕事は非常に充実していて、参加して良かったと思いました。
- ぶっかりあう迫力あるプレイ、コーラーやチーム関係者の熱意と一体感、見ごたえのあるサッカーでした。もっと多くの人に感じていただきたい、それほど熱い2日間でした。
- 目隠しをしていますが、フィールドを駆け回り、白熱のシュートを決める。その全てを支えるチームメンバー達との厚い信頼を、観戦しながら肌で感じる事ができました。これからはファンとして応援していきたいと思います。
- 今まで一度もブラインドサッカーを観戦したことが無かったが、本当に迫力があり、魅力的なスポーツだと感じました。目を使わないでサッカーをすることがどれほど難しいか理解できましたし、そのなかで選手達がとても常人には出来ないパフォーマンスを魅せることの素晴らしさを肌で感じる事が出来ました。
- 選手やチーム関係者の大会に対する意気込みの強さは想像以上のものでした。彼らのブラインドサッカーに対する熱意を後押しできる大会運営ができるよう機会があればまたボランティアに参加させていただきたいと考えております。
- 帯同したチームの選手が、視覚障害者にもこれだけのことができるということを、視覚障害者にしてもらいたいと、そのためにはいろんな人に協力をしてもらわなければならないと言っていたのがとても印象的でした。
- 一般のサッカーやフットサルと比べて、はるかに激しい競技で驚きました。
- 年々ブラインドサッカーのレベルが上がっているのを感じた。今後も是非多くのブラインドサッカー選手が増え盛んになることを望む。また、近くのクラブがあれば練習などもみに行ってみたいと思った。(何か日常的にサポートが必要なのか、知りたい)
- 毎年、日本選手権を楽しみにしています。今回で3回目の観戦ですが、回を増すに従ってチームの実力も拮抗して、緊迫、白熱した試合が多く、サッカー好きが見ていて、とてもアグレッシブで楽しいです。
- 今大会では到る所で涙を流す姿を見かけました。連続失点を喰らって、思わず流した悔し涙や、3・4位決定戦で負けてしまったけど、ベストを尽くしてやり切った事とチームへの感謝の涙。連覇を果たしたうれし涙。それぞれ涙の理由は違えど、この大会へ向け、練習を積み重ねてきた事や、賭ける思いが伝わった